

# 日本社会科教育学会 第 65 回全国研究大会（宮城大会）のご案内（1 次案内）

日本社会科教育学会会長 坂井 俊樹  
全国研究大会実行委員長 松岡 尚敏

阪神淡路大震災から 20 年、東日本大震災から 4 年が過ぎました。いずれの災害も被災地に甚大な被害をもたらし、その後の復興についてもいろいろな課題をかかえながら、新しいよりよい地域の再生をめざして、様々な取り組みが行われています。こうした中で、公民的資質の育成を究極的な目標として掲げている社会科教育においては、よりよい社会の形成に参画する資質や能力を子どもたちにどのようにして育成していくべきかが問われています。日本社会科教育学会では、第 65 回全国研究大会を被災地のひとつである宮城県の宮城教育大学を会場として開催することとなりました。被災地のみならず、全国の各地域でのよりよい社会づくりのさらなる進展を願いながら、「未来社会の形成者を育てる社会科授業」を大会主題としました。

この第 65 回全国研究大会が、社会科教育の研究と実践を通して、これからの未来社会を創っていく子どもたちの健やかな成長に、少しでも結びついていくことを願っています。折しも紅葉の映える時期に、自然豊かな宮城教育大学青葉山キャンパスが、皆様をお迎えいたします。一人でも多くの皆様をご参加されますようご案内申し上げます。

なお、大会への参加、発表を希望される場合には、自由研究発表の申し込み、懇親会への参加、関連行事への参加、弁当の注文につきまして、所定の期日までにお知らせいただき、費用をお振り込み下さいますよう、お願い申し上げます。期日までに費用をお振り込みいただくと、当日にお支払いされる場合の費用よりもお安くなります。当日の受付の混雑を緩和するためにも、できるだけ事前の振り込みにご協力いただきますようお願いいたします。

1. 大会主題 未来社会の形成者を育てる社会科授業
2. 期 日 2015（平成 27）年 11 月 7 日（土）・8 日（日） \*関連行事は 6 日（金）
3. 会 場 宮城教育大学教育学部（〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地）
4. 主 催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
5. 後 援 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
6. 日 程

## 第 1 日目 11 月 7 日（土）

8:30	9:30	12:00	13:30	16:15	17:15	17:30	19:30
受付	自由研究発表 I	昼食 評議員会	シンポジウム	総会	移動	懇親会 (宮城教育大学 萩朋会館)	

## 第 2 日目 11 月 8 日（日）

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表 II	昼食	課題研究発表	

## 7. 関連行事 ー 巡検

日程	2015（平成27）年11月6日（金）
テーマ	被災地と社会科（仮）
対象地域	仙台市荒浜地区・名取市閑上地区
案内者	小田隆史（宮城教育大学教育復興支援センター）
人数	先着40名
集合時間・場所	13:00・JR 仙台駅東口より直進（徒歩3分）のハウジングセンター前
時間	13:00～17:30
費用	2000円（上記の集合場所までの移動にかかる費用は実費負担）

## 8. シンポジウム

テーマ 社会科における復興教育の可能性をさぐる  
ー新たな地域創生と社会参画ー

### 【趣旨】

あの3・11、東日本大震災から4年が過ぎましたが、避難者は今も約23万人にのぼっています。政府が決めた5年間の集中復興期間もまもなく今年度で終了します。しかしながら、災害公営住宅の建設や集団移転などをはじめとして、復興計画の多くは予定通りには進んでいないのが現状です。

このように被災地の将来に向けての見通しを未だ持ちにくい状況の中にもかかわらず、「医」「職」「住」の再建をはじめとして、新たな地域再生・創生の様々な取り組みが模索されています。しかしながら、実は東北地方、中でも今回被害の大きかった沿岸部の被災地をはじめとする地域では、震災前から「持続可能な地域創生」という視点からみた場合に、様々な課題に既に直面していました。むしろ、大震災がこうした様々な課題を顕在化させるとともに、増幅化させたとみることができます。例えば、若者人口の減少と高齢化に伴う医療や福祉の空洞化、地場産業の衰退と後継者不足、地域コミュニティの弱体化による地域文化の消失などといった課題があらためて浮き彫りになってきています。

こうした社会の現実と向き合ったとき、昨年、静岡大会のシンポジウムテーマに関わって記載されていた「より良い社会の創造のために、このような新たな変化をもたらす様々な社会の課題に、主体的に問いをもって考え、お互いに意見を議論し合い、その解決のために協力して行動する資質や能力が、市民一人ひとりに今後ますます問われるようになるでしょう。そのため、市民的資質の育成を目指す社会科において、（中略）に向き合うことに、大きな意味があると考えます」という文章は、東北地方にもそのまま当てはまります。よりよい復興の在り方を考えるための教育を「復興教育」という言葉で表した場合に、学校教育の中での一教科としての社会科が果たす役割には大きなものがあると言えるでしょう。

シンポジウムでは、「持続可能な地域創生」という視点から、社会科における「復興教育」のあり方とその可能性について、シンポジストに提起していただく予定です。そして、その提起を踏まえながら、具体的にどのような教材を開発し、どのような授業を構想していけばよいのか、参加者の皆様とともに議論を深めていきたいと思っております。

コーディネーター 小原友行（広島大学） 松岡尚敏（宮城教育大学）  
シンポジスト 村山良之（山形大学）  
小田隆史（宮城教育大学教育復興支援センター）  
玉應雅史（河北新報社）  
中澤健一（石巻市立向陽小学校）

## 9. 課題研究

### I 21世紀型学力論と社会科授業改善の方向性

コーディネーター 加藤公明（元千葉県公立高等学校） 木村博一（広島大学）

#### [趣旨]

現在審議中の次期学習指導要領においては、児童・生徒自らが課題を見だし、主体的に探究していく力を育てることをめざして、アクティブラーニングを通じて、新しい21世紀型の学力を育成していくための授業が求められるものと予想されます。そこで、社会科授業において、どのような力を、どのようにして育成していったらよいのかについて議論したいと考えます。

### II 社会科と道徳との関係を考える

コーディネーター 磯山恭子（静岡大学） 溝口和宏（鹿児島大学）

#### [趣旨]

「特別な教科 道徳」として道徳科が、学習指導要領に新たに位置づけられることになりました。社会科と道徳科との関連を考慮した学習活動を展開することで、相互に効果を高めることが求められています。社会認識の形成を通して、市民的資質の育成を目指す社会科と、新たに導入される道徳科とは、どのような関係を築いていけばよいのでしょうか。社会科と道徳科との関連／差異を意識した教育のあり方を、カリキュラムや授業のレベルで具体的に議論したいと考えます。

### III 被災地復興に社会科はどう向き合うか？

コーディネーター 大澤克美（東京学芸大学） 池俊介（早稲田大学）

#### [趣旨]

東日本大震災の被災地では、復興に向けた様々な取り組みが行われています。しかし、その一方で復興のあり方や進め方をめぐり多くの問題が発生しているのも事実です。こうした被災地の抱える切実な問題を私たちはどう受け止め、社会科の授業づくりにどのように活かしていくべきかについて議論を深めたいと思います。

### IV 社会科授業研究のための質的研究法の課題

コーディネーター 川崎誠司（東京学芸大学） 桑原敏典（岡山大学）

#### [趣旨]

社会科の授業研究には長い歴史と豊富な蓄積がありますが、最近では他分野で研究が深められてきている「質的研究」の方法に学ぼうとする傾向が顕著になっています。授業の合理的な解釈を志向する試みです。本分科会では、授業の解釈から授業改善につながる、社会科教育研究における質的研究のあり方について検討してみたいと思います。

### V 地理歴史科改変の課題

コーディネーター 井田仁康（筑波大学） 篠塚明彦（弘前大学）

#### [趣旨]

昨年、学術会議が高校歴史教育のあり方について提言を出しました。また、一方では中教審でも地歴科のあり方についての審議が進められています。今や高校地歴科の改変は必至なものとなっています。そこで本課題研究では、地歴科の改変が進められる中で、どのような地歴科があるべき姿であるのか、何を指すべきなのかについて、高校や中学校で教鞭を執る会員も多い本学会の特性を活かし建設的に議論を深めていきたいと思います。

## 10. 大会参加の申し込みについて

### (1)参加費

#### ①大会参加費

一般会員 : 3000 円 (事前登録), 3500 円 (当日受付)  
学生・院生会員 : 2500 円 (事前登録), 3000 円 (当日受付)  
非会員 : 3500 円 (事前登録・当日受付)

#### ②懇親会参加費

会員・非会員 : 5000 円 (事前登録), 6000 円 (当日受付)

#### ③弁当代 (お茶付き)

第 1 日目のみまたは第 2 日目のみ : 800 円, 両日 : 1600 円

【振り込み先】 ゆうちょ銀行

口座記号 : 02210-3 口座番号 : 138671

口座名 : 日本社会科教育学会第 65 回大会実行委員会 (ニホンシャカイカキョウイクガツカイ  
ダイロクジュウゴカイトイカイジッコウイインカイ)

### (2)大会参加の登録について 【締め切り】2015 (平成 27) 年 10 月 2 日 (金)

！！振り込みも忘れずをお願いします。大会参加の登録を済ませただけでは、事前登録となりませんのでご注意ください。

① 大会への参加は、学会ホームページの第 65 回全国研究大会 (宮城大会) ([http://socialstudies.jp/ja/research\\_conference.html](http://socialstudies.jp/ja/research_conference.html)) をご確認の上、申込専用サイト (<http://jass65th-taikai.com/registration/form1>) からお申し込み下さい。申込専用サイトをご覧になれない方は、同封の用紙にて同様の内容をメールまたはファックスでお送りいただいても結構です。※原則として申込専用サイトからのお申し込みをお願いしております。

②大会の受付事務は、東北大生協 (担当: 佐藤由康) に委託しています。

連絡先は、メールアドレス: [office@jass65th-taikai.sakura.ne.jp](mailto:office@jass65th-taikai.sakura.ne.jp), FAX: 022-223-4518 になります。

③大会参加申し込み用紙と振り込み用紙を同封します。大会参加の登録、大会参加費・懇親会参加費・巡検費・弁当代の振り込みは、全て 10 月 2 日 (金) が締め切りです。

④振り込みが確認できた時点で、大会参加の事前登録の完了とみなします。なお、事前登録された方には、当日配付する『大会発表論文集』を確保します。当日の受付の混雑を緩和するためにも、可能な限り、事前登録をして下さい。

⑤10 月 30 日 (金) までの事前登録のキャンセルは、振り込み手数料を除いて返金します。東北大生協 (担当: 佐藤由康) にご連絡下さい。

## 11. 自由研究発表の申し込みについて 【締め切り】2015 (平成 27) 年 7 月 31 日 (金)

！！大会参加の登録も忘れずをお願いします。大会参加の登録とは締め切りが異なります。！！

！！自由研究発表の申し込みは会員に限ります。！！

(1)自由研究発表の申し込みは、大会参加の登録時に、申込専用サイト

(<http://jass65th-taikai.com/abstract/form1>)からお申し込み下さい。

送信する項目は、①氏名、②ふりがな、③所属、④連絡先 (住所・電話・ファックス)、⑤メールアドレス、⑥自由研究発表題目、⑦プロジェクターの使用の有無になります。

自由研究発表の申し込みは、申込専用サイト(<http://jass65th-taikai.com/abstract/form1>)からを原則としますので、ご協力下さい。

申込専用サイトをご覧になれない方は、同封の用紙と同様の内容をメールまたはファックスでお送りいただいても結構です。連絡先は、上記 10 の(2)②と同様になります。

⑥自由研究発表題目は、『大会発表論文集』の原稿作成時に変更がないようにお願いします。連名での報告の場合は、代表一人の④連絡先 (住所・電話・ファックス) と⑤メールアドレスを記載して下さい。

(2)自由研究発表の申し込み完了後に受付の確認メールが自動送信されます。自動送信メールを受信しない場合は、大会事務局に直接お問い合わせ下さい。

- (3)自由研究発表の申し込みは、7月31日(金)が締め切りです。
- (4)自由研究発表に関する連絡は、全て記載のメールアドレスにて行いますので間違えないよう、ご注意ください。
- (5)『大会発表論文集』の原稿は、9月4日(金)が締め切りですので、ご準備下さい。『大会発表論文集』の原稿に関する詳細(原稿様式・提出方法)は、自由研究発表の申し込み者への受付完了自動送信メールをご確認下さい。
- (6)『大会発表論文集』の編集事務は、東北大生協(担当:佐藤由康)に委託しています。  
連絡先は、メールアドレス:office@jass65th-taikai.sakura.ne.jp, FAX:022-223-4518になります。
- (7)自由研究発表の発表時間は、発表20分、質疑応答10分(計30分)です。自由研究発表に関する詳細(発表時間・発表会場)は、大会プログラム(2次案内、10月初旬送付予定)に掲載いたします。
- (8)発表の際は、事務局で準備するプロジェクターをご利用いただけます。プロジェクターをご利用の方は、ご自身のパソコンをご持参下さい。その他の機材の使用を希望される場合は、自由研究発表の申し込み時にお問い合わせ欄へ記載して下さい。

## 12. 会期中の昼食(弁当)について

大学付近にはコンビニ・飲食店がありませんので、弁当の注文をおすすめします。弁当は7日(土)・8日(日)ともお茶付きで800円です。弁当の注文は、大会参加の登録時に、申込専用サイトから送信してお申し込み下さい。申込専用サイトをご覧になれない方は、同封の用紙と同様の内容をメールまたはファックスでお送りいただいても結構です。

## 13. 宿泊の斡旋について

宿泊の斡旋はいたしません。各自でご予約をお願いします。

## 14. 会場へのご案内



<市営バス> 仙台駅西口バスプール【9番】乗り場から、「715 宮教大」「710 宮教大・青葉台」「713 宮教大・成田山」行き乗車 「宮教大前」下車(所要時間約20分)  
なお、会期中の朝夕に臨時バスを増便する予定です。

<タクシー> 仙台駅西口タクシープールより20分、2000円程度

※ 大学構内の一般駐車場の利用はご遠慮下さい。

## 15. お問い合わせ先

(1)大会参加の事前登録, 自由研究発表の登録, 大会参加費・懇親会費・巡検費・弁当代の振り込み,  
『大会発表論文集』の原稿の提出

日本社会科教育学会第 65 回全国研究大会 (宮城大会) 実行委員会 受付部  
佐藤由康 (東北大生協)

メールアドレス : [office@jass65th-taikai.sakura.ne.jp](mailto:office@jass65th-taikai.sakura.ne.jp)

FAX : 022-223-4518

TEL : 022-226-3886

## (2)上記以外の事項

日本社会科教育学会第 65 回全国研究大会 (宮城大会) 実行委員会 事務局長 吉田剛  
〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地 宮城教育大学教育学部

メールアドレス : [yoshida@staff.miyakyo-u.ac.jp](mailto:yoshida@staff.miyakyo-u.ac.jp)

\*問い合わせは, メールでお願いします。電話の場合には, 受付部の佐藤由康に連絡をお願いします。